

### 委託業務契約について

清和クラブ  
松林 彰



**問** 本年度の橋りょう点検調査委託業務の中で、随意契約した理由が地方自治法施行令第167条の2第1項第2号との解釈であるが、これは契約の性質が競争入札に適さない特定のものでなければ履行できない場合である。市の見解は。

**答** 現時点では、岐阜県道路メンテナンス会議が提案した岐阜県建設研究センターへの随意契約が、円滑な業務実施に向けて有効であると判断している。今後は他自治体の事例などを参考に発注方式を検討していく。また、安易に随意契約とすることなく、公正で適正な契約事務を進めていく。



### 過疎に打ち克つ～先進的な少数社会をめざして～

清和クラブ  
松山 篤夫



**問** 過疎新法が4月に制定された。新法の根底には、過疎地域を都市とは異なる可能性を持つ地域として捉え、その持続的発展を図ることが国土の価値を高め、国の多様な発展をつくり出すという思考があり、過疎地域を支援する意味をより明確にしている。前法で記述がなかった人材の確保・育成が最初に取り上げられているが、市はこの人材の確保・育成に対してどのような施策に取り組んでいくのか。

**答** 移住及び定住の促進、地域間交流の促進、産業の担い手育成など、多様な人材の確保、育成に向けた様々な施策に取り組む。



### 「呪術廻戦」でアニメツーリズムを推進

清和クラブ  
車戸 明良



**問** 人気漫画「呪術廻戦」に登場するキャラクターと同名の伝説上の豪族「両面宿儺」のゆかりの地が市内に多く、ファンが訪れるなど話題となっている。アニメツーリズムの推進は。

**答** 今年の冬に映画の公開も決まっています。注目が集まっている。両面宿儺が住んでいたとされる「両面窟」は落石等により立ち入り禁止だが、説明看板を設置し遠方から見て感じてもらえる整備や「お膳石」「宿儺の足跡」なども案内看板を置くなどする。都市部へのプロモーションを強化するため、両面宿儺をイメージしたデザインの高速バスを7月中に走らせる。



### 新型コロナ「正しく恐れる」情報が少ない

斐翔・自民クラブ  
水門 義昭



**問** 新型コロナウイルス感染症への不安が大きい。「正しく恐れる」という情報が提供が少なすぎる。感染者探しをしないためにも、感染経路など感染対策に必要な情報を県や保健所等関係機関から収集し、必要に応じた分析をして市民に提供すべきではないか。

**答** 現在、市としては県からの情報によって市民へ情報を提供している。市民に感染防止対策をしっかりとっていただけるよう、今後も引き続き市民の感染予防・まん延防止対策推進に有効な感染症の情報の提供を県に対し要望等を行い、感染の予防対策について周知に努める。

